

## ■ビジターバースについて

### 1、ビジターバースの必要性

芦屋港の活性化は、芦屋町の海を活かした観光振興を主軸とした地方創生を推進するものとして、隣接する芦屋海浜公園を含めた一体的な空間形成を図り、マリンテラスあしやや芦屋釜の里をはじめとした町内各施設や事業者との回遊性を高める拠点としても位置付けている。さらに、広域観光の視点も持っており、これまでにない港ならではの海の玄関口としての位置づけをし、様々な機能を導入する構想である。このことから、国土交通省の認定制度である「海の駅」や「みなとオアシス」の認定を受け、芦屋町の活性化にさらに効果を発揮しようとしている。この「海の駅」や「みなとオアシス」の認定要件のひとつにビジター桟橋があることや、海の玄関口や海を活かしたレジャースポットとして活用するために、ビジター桟橋の必要性が高い。

### 2、ビジターバースの活用

ビジター船舶の一時係留のほかに、体験プログラムや海洋レジャーの出発地としての活用を想定。ただし、近隣マリーナに備えられている給油施設は、費用対効果から設置はせず、芦屋港に導入する機能（飲食施設や直売施設、イベント施設や周遊拠点）の利用が主な目的となる。

### 3、ビジターバースの規模

#### (1) 想定する係留船舶の規模

- ・ 9m～12m（30フィート～40フィート）

#### (2) 係留隻数

- ・ 3隻程度（船の規模により前後する）

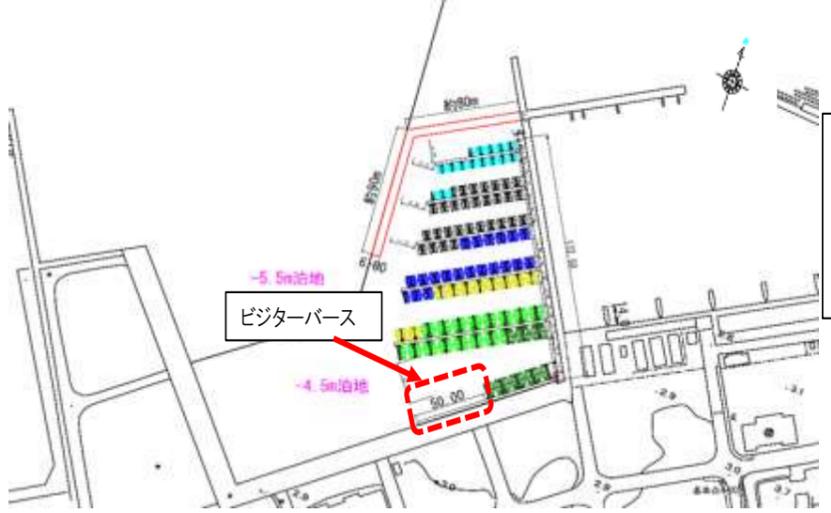
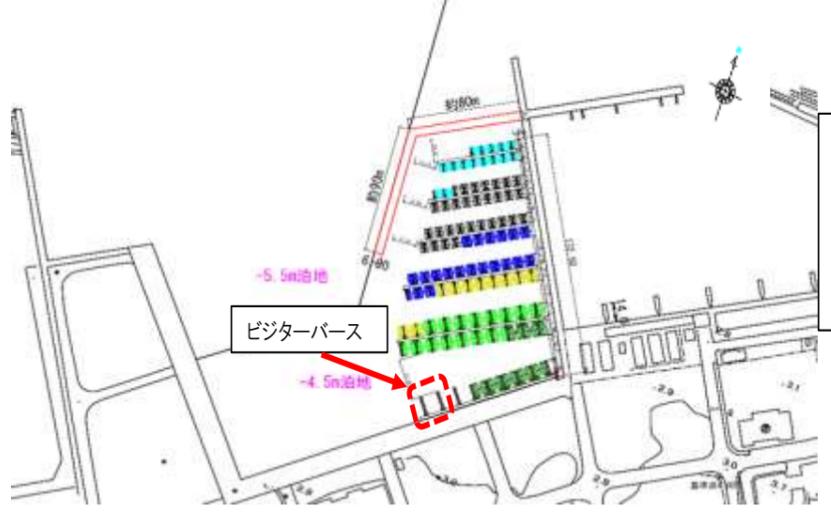
#### (3) ビジターバースの形態

大きく次の2つのタイプに分類される。それぞれのタイプで特徴や施設配置が異なってくるため、下の図に整理した。

※本分科会では、係留隻数や配置の際に影響するため、どちらのタイプが効果的か方向性を決めることとする。

- ・ 浮桟橋タイプ（ストレートタイプ）
- ・ 補助桟橋タイプ（オーナーバースの一部を使用するタイプ）

○ビジターバースの形態別比較表

	浮棧橋(ストレートタイプ)	補助棧橋タイプ(オーナーバースの一部を使用するタイプ)
参考	 <p>出典: Googleマップ</p>	 <p>出典: 新門司マリーナHP</p>
	<p>参考: 脇田フィッシャリーナ 形式: 浮棧橋(ストレートタイプ) 規模: 50m</p>	<p>参考: 新門司マリーナ 形式: 補助棧橋タイプ (オーナーバースの一部を利用) 規模: 6区分</p>
イメージ図		
	<p>規模: 50m(3隻分) 全体の係留隻数: 191隻 (最大200隻想定の場合)</p>	<p>規模: 1.5バース(3隻分) 全体の係留隻数: 197隻 (最大200隻想定の場合)</p>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジターバースとしての利用がない場合は活用ができず、収入が減少する可能性がある。</li> <li>・15m以上の大きな船舶の利用にも対応することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジターバースとしての利用がない場合は、オーナーバースとして活用するなど、柔軟な対応が可能であり、利用状況に応じて、収入も確保しやすくなる。</li> <li>・18mまでの船舶の利用に対応することができる。</li> </ul>

#### 4、利用時間、料金の考え方

##### (1) 他事例

ビクターバースの利用時間については、大きく次の2つの方式に分類される。

- ・ 1日単位（1週間単位や1か月単位など長期間の場合を含む）
- ・ 時間単位（短時間利用）

これは、各施設の立地や設備、用途により異なる。特に観光施設や商業施設が併設または隣接している立地では、1日単位の設定に加え、短時間利用の設定を併用している施設が多い。※下表参照

##### (2) 利用時間の考え方

- ・ 1日単位と時間単位（短時間利用）を併用する設定とする。

※ただし、具体的な時間設定は、管理運営者を決定する段階で決定することとする。

##### 【理由】

- ・ 芦屋港に整備するポートパークは、芦屋港活性化に寄与する導入機能のひとつであり、隣接し飲食施設などの商業施設や観光機能を導入するほか、隣接する芦屋海浜公園やマリントラスあしや、芦屋釜の里など芦屋町や周辺地域へ周遊する海の玄関口としての位置づけがある。一方、ポートパークには、マリーナのようなサービス機能や整備施設は整備しない方向性となっている。このため、ビクターバースの利用にあたっては短時間利用が多くなることが想定される。

##### (3) 利用料金の考え方

- ・ 「新門司マリーナ」の料金を参考とする。

※ただし、具体的な料金設定については、社会経済環境の変化などを考慮し、管理運営者を決定する段階で決定することとする。

##### 【理由】

- ・ 周辺に立地する施設のうち、1日単位と短時間料金を併用しているのは「大島港」と「新門司マリーナ」である。それぞれ「海の駅」の認定を受けた施設であるが、その立地や機能は大きく異なるため単純比較は困難である。このため、稼働率が高く、船舶の船長によってより細かく設定してある「新門司マリーナ」を参考とする。

#### (参考)

○短時間利用料金一覧（円）

ビクターバース料金(短時間)						
	脇田フィッシャリーナ	大島港	新門司マリーナ	西福岡マリーナ	福岡市ヨットハーバー	長崎出島ハーバー
6m未満	-	1,500円	1,650円	1,650円	-	1,430円
6m~7m	-				-	
7m~8m	-		-			
8m~9m	-		-			
9m~10m	-	2,000円	2,200円	2,200円	-	1,650円
10m~11m	-		-			
11m~12m	-		-			
12m~13m	-		2,750円	2,750円	-	2,200円
13m~14m	-		-			
14m~15m	-	3,300円	-	-	2,530円	
15m以上	-	-	3,300円	3,300円	-	2,750円
利用時間	短時間利用の設定なし	2時間以内	2時間以内	2時間以内	短時間利用の設定なし	4時間以内

○1日単位利用料金一覧（円）

ビクターバース料金(1日単位)						
	脇田フィッシャリーナ	大島港	新門司マリーナ	西福岡マリーナ	福岡市ヨットハーバー	長崎出島ハーバー
6m未満	2,160円	3,000円	3,300円	2,750円	2,000円	2,750円
6m~7m	2,520円				2,300円	
7m~8m	2,880円				2,600円	
8m~9m	3,240円				2,900円	
9m~10m	3,600円	4,000円	5,500円	3,850円	3,200円	3,300円
10m~11m	3,960円			3,500円		
11m~12m	4,320円			4,950円	3,800円	3,850円
12m~13m	4,680円			5,500円	4,100円	4,400円
13m~14m	5,040円			6,600円	4,400円	4,950円
14m~15m	-	7,700円	8,250円	4,700円	5,500円	
15m~16m	-	8,800円	9,350円	-	-	
16m~17m	-	11,000円	11,000円	-	-	
17m以上	-	-	-	-	-	
備考						

※大島港、新門司マリーナ、西福岡マリーナ、長崎出島ハーバーはフィートでの料金設定をメートル単位に変更しているため、実際の料金と異なる場合があります。